

事業評価書

補助事業名	医療に関する事業:妊産婦及び乳幼児健康診査事業(基金)									
補助事業者名	木更津市長									
実施場所	医療機関									
補助事業の成果の目標	<p>【妊産婦歯科健康診査】 妊娠中は妊娠関連の歯肉炎になりやすく、それを放置すると歯周病が重症化して早産や低体重児出産のリスクが2倍になるという研究報告もあり、妊娠中に専門家によるチェックを受け、口腔内が良好に保たれていることが重要です。また、産後は子育ての多忙さから口腔管理がおろそかになりがちですが、母親の口腔内細菌の感染が子どものむし歯の原因とも言われているので、産後の母親の口腔内が良好に保たれることも重要です。しかしながら現在は公的助成がないため、妊産婦の時期に歯科健康診査を受診している妊産婦が少ないことから、健診費用を助成し、受診しやすい体制をつくり、受診者数の増加を目標とします。</p> <p>【2歳児歯科健康診査】 法令で定められている1歳6か月児健康診査と3歳児健康診査の中間時期の2歳6か月児を対象に、乳歯の積極的なむし歯予防を目的とした歯科健康診査(フッ素塗布を含む)を実施し、健診費用を助成することで、受診しやすい体制をつくり、受診者数の増加を目標とします。</p> <p>【新生児聴覚検査】 先天性難聴児は、1000人に1人から2人程度と比較的高頻度で出生しています。新生児聴覚スクリーニング検査によって難聴児を早期発見し、早期療育を開始することで、言語発達等の影響を最小限に抑え、生活の質の向上につながります。現在、新生児聴覚検査は自費診療となっているため、検査を受けない保護者が一定数存在しており、検査の100%実施が達成できていません。検査費用の助成を行うことで、出生したすべての児が受検することを目標とします。</p> <p>【妊婦・乳児健康診査】 母体や胎児・乳児の健康維持や異常の早期発見のため、妊婦・乳児健康診査の受診を促し、健康管理の向上に努めることを目標とします。</p>									
補助事業の内容	妊産婦や乳幼児を対象とした健康診査費用の助成									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和元年度から令和8年度 基金の処分:令和2年度から令和10年度									
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額	円
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計				
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	1	20,000,000				20,000,000	0	20,000,000	0	
	2	90,988,000			8,000	90,996,000	5,589,880	105,406,120	5,589,880	
3	19,143,000			42,162	19,185,162	51,142,932	73,448,350	51,142,932		
4	92,076,000			29,379	92,105,379	50,726,496	114,827,233	50,726,496		

<p>補助事業の成果及び評価 並びに地域住民への周知 の実施状況</p>	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>【妊産婦歯科健康診査】 妊産婦歯科健康診査において、令和3年度の受診率は33.3%でしたが、令和4年度は35.9%とわずかに受診率の向上が見られました。 また、産婦歯科健康診査においては、初年度である令和3年度は7.6%の受診率でしたが、令和4年度は17.8%と大幅に増加しました。この背景には、産婦歯科健康診査の周知が行き届いてきた結果と考えます。今後のさらなる受診率の向上に努めます。</p> <p>【2歳児歯科健康診査】 令和3年度は67.0%の受診率でしたが、令和4年度は52.3%となり受診率が低下しました。令和4年度に実施した2歳児歯科健康診査対象者アンケートによると、無料であることやフッ素塗布ができることが良かった、本健診の対象期間がこどもの歯科医院デビューの必要性を感じる時期と合致していたという回答が多くあり、市民のニーズにあった健診であると考えます。今後の受診率の推移を注視するとともに、本健診のさらなる周知に努めていきたい。</p> <p>【新生児聴覚検査】 令和4年度の受診率は91.1%。要精密検査となった児4名については、受診ができ、うち、1名については片側難聴が発見され医療機関に結びつけられ、早期対応ができています。</p> <p>【妊婦・乳児健康診査】 令和4年度の妊婦健康診査の受診券利用件数は11,391件でした。妊婦健診の望ましい回数への指導については、妊娠届出時に全員に指導をおこなっています。 乳児健康診査受診券利用件数は、1480件。受診券利用率は67.9%と、令和3年度と比べて受診率が向上しています。新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関への受診控えが解消されてきていると推測されます。</p>
	<p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>【妊産婦歯科健康診査】 母子健康手帳交付時に交付する妊産婦歯科健康診査受診票および産婦歯科健康診査クーポン、市ホームページおよび市公式SNSにおいて周知しました。</p> <p>【2歳児歯科健康診査】 2歳6か月になる月に発送する2歳児歯科健康診査受診票、市ホームページおよび市公式SNSにおいて周知しました。</p> <p>【新生児聴覚検査】 母子手帳発行時に本事業の説明の徹底をはかり、周知しました。また、市ホームページにおいて広く周知しました。</p> <p>【妊婦・乳児健康診査】 母子手帳発行時に本事業の説明の徹底をはかり、周知しました。また、市ホームページにおいて広く周知しました。</p>
<p>事業の改善措置及び今後の対応</p>	<p>—</p>
<p>事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無</p>	<p>無</p>